

流山とりだより

流山野鳥同好会

No.143

2023年4月10日



水を飲む間も、横目でギロリ！
小鳥たちには恐怖の眼差しでしょう。
頭布のような太い頬ひげは、亜種オオハヤブサでしょうか？

2023.02.23 江戸川

撮影：森岩 好明

観察会から

● 1月（第286回）定例観察会 運河

2023年1月15日

菊池和子

新年1回目の探鳥会は、運河駅9時集合、20名の参加でした。

利根運河にいたのは、カルガモ、ヒドリガモ、コガモ、オオバン、コサギで、カワセミも木の中にいました。クチバシの黒いのがオス、下半分赤いのがメスということです。

白い顔に黒い線がハクセキレイ、黒い顔に白い線がセグロセキレイです。カシラダカはカシラ（頭）が高い。（盛り上がっているように見える）

メジロ、シジュウカラ、モズ、ジョウビタキなどは動くのでゆっくり見られません。カイツブリは潜るので、どこに出てくるか楽しみです。ウグイスは地鳴きチャッチャ、さえざりホーホケキョは暖かくなってからです。

トビ、チョウゲンボウ、ハヤブサなどタカ目が出ておめでたいです。スズメも肉眼よりは双眼鏡、スコープで見ると模様や色がはっきりわかり綺麗です。今日はくもりでしたが晴れだといっそう綺麗に見えます。

雨は夕方からということで、曇りで寒い中、皆さんお疲れさまでした。

<編集より>

雨降りが心配でしたが、さほど寒くもなく良い一日でした。カワセミは何度見ても癒されますね。

<会員以外のみなさんより>

鳥をたくさん見ることができ、名前や特徴を教えていただきありがとうございました。自分でも今日のコースをもう一度まわってみます。
(今泉好美さん)

ふだん自分でみつけても名前と種が分からなかったのが、教えていただけてよかったです。望遠鏡も自身のだといまひとつの見えでしたが、見せていただけてキレイにみえました。優しくご親切に接して下さりありがとうございました。
(今泉 毅さん)

利根運河は自転車での走行しかありませんでしたが、徒歩で色々な鳥にあえて名前を覚えて(?) 楽しく探鳥できました。ありがとうございました。忘れるまえに、凶鑑で頭に入れる様にします。今後共、よろしく願います。
(柳 健一郎さん)

鳥の音がとても気になるようになりました。羽の色がすごくキレイ! すてきな時間をすごせました。
(増田久美子さん)



カワセミ



イソシギ



セグロセキレイ (頬が黒い)



ハクセキレイ (頬が白い)



ヒドリガモ♀



ヒドリガモ♂



オオバン

運河の探鳥は初めてでした。沢山の鳥と出会え、また会員の皆様の鳴声の解説も素晴らしく、楽しく時間を忘れて参加できました。また次回も参加させて頂きたく、宜しくお願いします。

(友水清之さん)

◆観察した鳥

カイツブリ、アオサギ、コサギ、トビ、ハヤブサ、ヒドリガモ、コガモ、マガモ、カルガモ、コジュケイ、オオバン、イソシギ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
(観察会后 カワウ)

以上 32 + 1 = 33 種

◆参加者

伊東 孝、今川裕史、今川裕美、今川 肇、落合 聡、菊池和子、近藤浄一、相馬利雄、土居正博、服部洋之、服部雅子、牧田浩美、牧田久寿、森岩好明、若林幹夫
(会員以外 今泉好美、今泉 毅、柳 健一郎、増田久美子、友水清之)

以上 20 人

市外観察会から

●手賀沼船上探鳥会

2023年2月5日

今川裕美

晩冬が過ぎ立春を迎え、日も少しずつ長くなってきた2月初旬。今回は船上での手賀沼探鳥会ということで、開催前から楽しみにしていました。前日に飾ったてるてる坊主と、参加者の皆様の思いが通じて、開催日当日は穏やかな風と晴天に恵まれ、素晴らしいコンディションで臨むこととなりました。

「ボートセンター小池」にて遊覧船に乗り、いざ出発！心躍る私達を最初に出迎えてくれたのは、やはりミサゴでした。岸边からの観察に比べ距離がぐっと縮まり、より近い位置で見ることができます。遠目ではなかなか見られない過眼線(サングラスのような目の黒い部分)をしっかりと確認することができました。

船長さんの説明によると、手賀沼では手賀大橋を挟んで二羽のミサゴが縄張りを持っており、利根川から飛翔してくる可能性があるミサゴを含めると最大で三羽観測できるそうです。その他にも、手賀沼の野鳥に関する詳しい情報を教えていただき、大変勉強になりました。

水上を眺めると、カムリカイツブリやハジロカイツブリが潜水を繰り返し、岸边では日光浴をする沢山のカルガモやアオサギの姿が…お馴染みの鳥たちも、手賀沼だとスケールが違います。葦原ではスズメやシジュウカラの群れが飛び、木の枝先ではオオジュリンが鳴いています。また、マガモ、コガモ、オナガガモ、ホシハジロといった多くの冬鳥を見ることができました。

船は手賀大橋をくぐり、鳥の博物館を横目に進んで行きます。定例会でお馴染みのハヤブサが鎮座している赤白の送電塔や木造の展望台が、今日はずっと遠くに見えます。そんな時、一羽のセグロカモメに遭遇。灰色の羽と黒い尾羽の濃淡をじっくりと観察しつつ、ふと空を見上げると、忘れてもらっては困るとばかりにトビやノスリが旋回しています。

杭に留まって羽づくろいをするカラス、両翼を広げて羽毛を乾かすカワウ、一斉に飛び立つカモの大群…普段はなかなか見ることができない生き生きとした野鳥たちの



やはりミサゴ！



カンムリカイツブリ



ホシハジロ



トビ



ダイサギ



コサギ



アオサギ

姿を間近で堪能しているうちに、いつの間にか終了時間が来てしまいました。下船する私達の前を横切ったカワセミを最後に観察し、いよいよ鳥合わせです。今回は合計30種類。数は多くありませんが、手賀沼の野鳥と豊かな自然を満喫した、感慨深い観察会となりました。

解散後に公園前の水辺を散策していると、お腹がすいているのか、野生化したコブハクチョウとオオバン、オナガガモの小さな群れが私達家族のすぐそばまで寄ってきました。利根運河のオオバンとは全く違う人懐こさに驚きつつ、ここぞとばかりに弁足と蹠足の違いを比べさせてもらい、帰路につきました。(詳しくはホームページ・フィールドノート(我孫子市)「船上探鳥会おまけ：オシャレも水鳥も足元から？」に掲載中です。ご覧くださいね)

<編集より>

杭にとまったミサゴを水上から見ていると船長が、「お気に入りの杭は先端が逆L字型で、魚を押さえて食べています」だって。さすが船長、そんなの陸からじゃ見えないよね。



オオジュリン



マガモ♀



マガモ♂



セグロカモメ



オオバン



オナガガモ

※オオバンの足（カイツブリ目やオオバン属の足は弁足（べんそく）といい、趾一本一本に葉状の蹼膜がついており、まるで恐竜の足のようです。顔に似合わず厳つい足！）

※オナガガモの足（カモ目の足は蹼足（ぼくそく）といって、趾（あしゆび）の間に蹼膜＝水かきが張ってあります。）

◆観察した鳥

カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、ヒドリガモ、コガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、ホシハジロ、オオバン、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒヨドリ、モズ、シロハラ、ツグミ、シジュウカラ、メジロ、オオジュリン、スズメ、ハシボソガラス

以上 30 種

◆参加者

今川裕史、今川裕美、今川 肇、今泉好美、今泉 毅、落合 聡、相馬利雄、土居正博、服部洋之、増田久美子、森岩好明、矢嶋賢司、山下直樹、若林幹夫、若林京子

以上 15 人

観察会から

● 2月（第287回）定例観察 大畔・市野谷・水鳥の池 2023年2月19日

菅野文夫



キジ (♂)



キジ (♀)

2023年2月19日（日）、曇り西南西の風3m 気温10.7℃。幸いなことに雨も降らず、初石駅前に集合した総勢38名にて定例観察会を開催いたしました。今回は初めてのコースで、かつ下見の際に22種しか見られなかったことで担当として大変気になっていました。さらに、予想を超えて初参加者が17名も加わったことで、初めての方々に確りとサポートができるだろうかと個人的には不安いっぱいスタートとなりました。

住宅街を抜けて10分程度歩き最初に訪れたのが大畔の森です。昨年より散策が可能になった新しい施設ですが、よく整備されていて小川も流れるコンパクトな森になります。早速、入口付近にて「ジュエ、ジュエ」とカケスの鳴く声が聞こえてきます。そして、エナガ、シジュウカラ、メジロの混群もやってきてくれました。入口の急な階段を降りると小さな沼地がありますが、暫し待機しているとアオジ、シロハラ、コゲラが観察できました。

小川沿いの道を歩きながら鳥の動きがないかあちこち探しますが、残念ながら見当たらなかったため早々に森を後にしました。この森は、散策するよりはじっと待機しているのが向いているのかも知れません。

森を出て視界に入るのは、昨年開校したおおぐろの森中学校です。日本最大級の木造校舎で森の中の木の学び舎というコンセプトだそうです。2年前までは畑が広がるのどかな地区だったので、一気に近代化した印象です。学校横の遊歩道を歩きながら進んでいくと、ツグミが地面を突いて採餌しているシーンをみる事ができました。後から知りましたが、上空ではヒメアマツバメが飛んでいたそうです。

信号を二つ渡って市野谷の森に入り、道路の左側を見ながら鳥を探しますがなかなか現れてくれません。引き続きカケスの鳴声を聞きつつしばらく歩いていくと、遠くで鳥影を発見、黄緑色の羽が美しいアオジです。暫し木に止まってくれたので観察することができました。このあたりで道程の約半分となり、予定通り流山警察署でトイレをお借りして休憩をとりました。昨年3月にプレオープンした県立市野谷の森公園の多目的広場からは、上空で旋回するノスリと8羽のカワラヒワを観察することができました。市野谷の森が整備中のため、普段はショベルカーやトラックが入って作業をしています。そして多目的広場横の樹木が大きく剪定・伐採されていたため、野鳥の止まり木となっていた場所もなくなってしまいました。毎年度末になると工事をしている印象で、愛鳥家としては鳥枯れの時期にやってもらえないかといつも願っています。

次に向かったのが一本桜広場です。この大ぶりの桜は、桜の季節になると大変見ごたえのある花を咲かせ、ドラマのロケ地などにも採用されたスポットです。ここでは、日本固有種と言われているセグロセキレイやモズのオスを観察できました。

大所帯のため想定外に時間がかかっていたことから、山野の鳥ルートを足早に駆け抜けて一路本日のハイライトである水鳥の池へ向かいました。道中ではヒバリの鳴声が高らかに聞こえてきます。春ですね。



ツグミ



ハクセキレイ



アオジ



ハシビロガモ (♂)



マガモ (♂)



オカヨシガモ

水鳥の池は、駅近にも関わらずたくさんの野鳥が観察できる貴重なスポットです。到着するやいなや、早速♂キジのお出迎えです。一同、キジの圧倒的な存在感に釘付けとなり、しばらくの間観察が続きしました。私もそうでしたが、初めて間近でみるキジはインパクトが大きいですね。沼に目を向けると、オオバン、オカヨシガモ、カルガモ、コガモ、ハシビロガモ、バン、マガモと水鳥7種、カワセミ、コサギ、アオサギ等を観察できました。しばし堪能した後に同所にて鳥合わせを行った結果、合計で34種の鳥を観察することができました。下見時より12種も多く見られたことで、肩の荷が下りたようでホッと胸を撫でおろしました。

鳥合わせをして解散した後のことです。落合さんが珍しい鳥を発見しました。北アメリカで繁殖し少数が日本に渡来するアメリカコガモです。コガモとの違いは脇側に白い縦線があるか否かですが、下見の際にはまったく気がつきませんでした。ヒメアマツバメを見つけたのも落合さんですし、さながら鳥博士ですね！1種追加して35種になりました。

<編集より>

私もアメリカコガモには気がつきませんでした。ちょっと老眼が進んだもので・・・なんて言い訳しちゃいけませんね。観察力のレベルアップ、みんなで目指しましょう！

<会員以外のみなさんより>

先日は、市野谷の森ほか野鳥観察会に参加させていただき大変お世話になりました。身近な場所にもこれ程多くの野鳥がいることに驚きましたし、何といても会の方々が丁寧に教えていただきまして本当にありがとうございました。
(吉田美生さん)

鳥の名前がわからなかったのですが、詳しく説明していただき、とても楽しかったです。近くにいる鳥に興味を持って見ていきたいと思います。今日は、ありがとうございました。
(匿名さん)



メジロ



ムクドリ



バン



アメリカコガモ+コガモ



アメリカコガモ

初めて参加致しました。種々の鳥を見て楽しかった。家に帰り図鑑を見て勉強したいと思います。有りがとうございました。
(匿名さん)

◆観察した鳥

アオサギ、アメリカコガモ、コサギ、ハイタカ、ノスリ、オカヨシガモ、コガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、キジ、バン、オオバン、キジバト、ヒメアマツバメ、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シロハラ、ツグミ、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス

合計 35 種

◆参加者

今川裕史、今川裕美、今川 肇、遠藤悦子、落合 聡、菊池則男、菊池和子、栗原三八子、菅野文夫、相馬利雄、土居正博、服部洋之、服部雅子、牧田浩美、牧田久寿、森田洋一、吉田令子、今泉好美、友水清之、増田久美子、柳健一郎
(会員以外 片岡多壽子、吉田美生、吉田和子、関 文江、林 京子、林 裕一、田中春奈、田中一秀、澤邊真也、澤邊ゆうけん、鈴木淑子、増田 仁、増田明子、吉田まり、後藤和宏、小熊節子、栗原悦子)

以上 会員 21 人+会員以外 17 人= 38 人

観察会から

● 3月（第288回）定例観察会 利根運河・理窓公園 2023年3月19日

落合 聡

3月の定例観察会は、利根運河と理窓公園で行われました。この場所は、例年4月に行われていましたが、1カ月早く行ったことで、渡り前の冬鳥達を多く観察できました。春らしい陽気で、さえずる鳥の声もよく聞こえ、この時期らしいバードウォッチングを楽しめました。

9時に運河駅集合。今回も多くの方々にご参加いただけました。自己紹介やコースの説明をして、出発しました。

まずはふれあい橋の上から鳥を探しました。見下ろして川を見ると、カルガモが泳いでいました。動きがゆっくりだったので、望遠鏡で多くの人に見てもらえました。しばらくすると、上空をダイサギが通過して行きました。大きい上に低空飛行だったので、迫力がありました。

利根運河の堤防に出ると、沢山のヒドリガモが岸に上がって採餌しているのが見えました。オスとメスの色彩の違いや、カルガモとの相違点をよく観察できました。

堤防沿いを歩いて行くと、川にコガモがいました。オスは顔の緑色がとても綺麗でした。手前の岸には、オオバンとバンが止まっていて、両種の違いを望遠鏡で観察できました。木にはツグミ、モズ、ホオジロ、コゲラ、ムクドリなど様々な鳥が止まりました。ウグイスのさえずりがすぐ近くで聞こえますが、なかなか姿が見つかりません。しばらく粘り一瞬ですが姿を現してくれたので良かったです。

更に歩いて行くと、所々でアオジの地鳴きが聞こえました。時々藪から出たり入ったりするところを見ることができました。また、突然キジのオスが藪から出てきて、ゆっくり歩いて行きました。すぐまた藪に入ってしまったのですが、その美しさに皆さん感動されていました。

理窓公園に入ると、至る所でシジュウカラがさえずっていました。森の中ではエナガ、メジロ、コゲラなどの小鳥類もよく見られました。また、地面にはシロハラがいましたが、一瞬見ることができ、すぐ飛んで行きました。

公園内には池が幾つかあり、ひょうたん池ではマガモをよく観察できました。調整池ではヨシ原の間隙からハシビロガモが見えました。また、コサギが飛んだり、カイツブリが鳴いたりしました。白鳥の池では、カルガモとオカヨシガモのつがいを近くで観察できました。柵にはダイサギとカワウとカルガモが仲良く並んで止まり、微笑ましい光景でした。

休憩中に珍しい鳥を発見した方がいました。写真を拝見するとビンズイでした。もう一度探しに行った時にはいなかったようです。私は見ていませんが、珍しい鳥が現れてくれると嬉しくなりま



ウグイス



メジロ



シジュウカラ



ビンズイ (古川)



オカヨシガモ♂



オカヨシガモ♀



アオジ

す。また、ヒメアマツバメが飛んでいたという話も聞きました。どちらも下見の時はいなかったので、大勢で探すと一人では見つからなかった鳥が見つかって、良いなと思いました。

12時頃、いにしえ公園に着き、鳥合わせを行いました。見たり声を聞いたりした鳥をチェックすると、36種類でした。下見の時よりも多くの鳥を観察でき、嬉しかったです。沢山の方々にご参加いただけただけのお陰です。次回も是非よろしく願いいたします。

<編集より>

前日の雨はウソのよう。晴れ渡った春の日差しに、ほころび始めた桜。小鳥たちも気持ちよさそうにさえずっていましたね。

<会員以外のみなさんより>

ゆっくり観察できてとても楽しかったです。1人では見つけれなかったり見逃してしまう鳥も教えてもらえてよかったです。ありがとうございました。(古川みゆきさん)

初参加でしたが、いろいろ丁寧に教えていただきありがとうございました。本日は多くの個体の観察はできません(気がつきません)でしたが、また機会を見て参加させていただきます。お世話になりました。最後にタイミングよくダイサギが飛び立つところを撮影できて感激でした。(東原 聡さん)



ツグミ



コゲラ



モズ



マガモ



コガモ



シロハラ

◆観察した鳥

カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、トビ、ヒドリガモ、オカヨシガモ、コガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、キジ、バン、オオバン、キジバト、ヒメアマツバメ、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、ビンズイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

以上 36 種

◆参加者

伊東 孝、今川裕史、今川裕美、今川 肇、遠藤悦子、落合 聡、菊池則男、菊池和子、菅野文夫、相馬利雄、布崎良枝、森岩好明、森田洋一、吉田令子、四方田久仁子、今泉 毅、今泉好美、友水清之、増田久美子、柳健一郎、田中春奈、田中一秀、鈴木淑子、後藤和宏 (会員以外 片岡多壽子、吉田美生、吉田和子、澤邊真也、澤邊ゆうけん、増田 仁、増田明子、中野幸男、平紙陽子、古川みゆき、東原 聡、牛山直美、牛山晶晴、牛山心平、牛山閃里、牛山開智、鷺津未知子)

以上 会員 24 人+会員以外 17 人= 41 人

◆鳥だより——フィールドノート拝見

この冬の流山と近隣地区の観察記録です。この冬は冬鳥が少なめだったように感じましたが、
 どうでしょうか。春から初夏にかけての渡り鳥、夏鳥のシーズンを楽しみにしましょう。

新川耕地、江戸川地区

- 12月29日 …コウノトリ、カワウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、ケリ
- 1月 1日 …タゲリ
- 1月 3日 …トビ、アオサギ
- 1月 4日 …チョウゲンボウ
- 1月 6日 …コミミズク
- 1月 7日 …チョウゲンボウ (♂成鳥)、ハイタカ (幼鳥)
- 1月 8日 …ケリ、コガモ、ハシビロガモ、ヒドリガモ、カルガモ、タシギ
- 1月 9日 …ノスリ (♀成鳥、幼鳥)
- 1月18日 …コミミズク
- 1月20日 …コミミズク
- 1月24日 …コミミズク
- 1月28日 …カワセミ (♀)
- 1月31日 …コミミズク
- 2月 3日 …コミミズク
- 2月 4日 …ベニマシコ (♂♀)、コサギ、チョウゲンボウ (♀成鳥)
- 2月11日 …コミミズク
- 2月22日 …コミミズク、ジョウビタキ♀、ホオジロ
- 2月23日 …ハヤブサ、コミミズク
- 3月12日 …カワウ
- 3月19日 …コガモ、カルガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、カイツブリ

若林幹夫
 落合 聡
 落合 聡
 森岩好明
 森岩好明
 落合 聡
 若林幹夫
 落合 聡
 森岩好明
 森岩好明
 森岩好明
 落合 聡
 森岩好明
 森岩好明
 落合 聡
 森岩好明
 落合 聡
 若林幹夫

新川耕地・江戸川地区



タゲリ 2023.01.01 落合



アオサギ 2023.01.03 落合



チョウゲンボウ 2023.01.04 森岩



チョウゲンボウ 2023.01.04 森岩



ハイタカ (幼鳥) 2023.01.07 落合



チョウゲンボウ (♂成鳥) 2023.01.07 落合

南流山地区

3月 7日 …ツミ
3月 21日 …イトヒヨドリ
3月 24日 …イトヒヨドリ

相馬利雄
友水清之
相馬利雄

市野谷・おおたかの森・大畔地区

12月 25日 …アマツバメ
1月 21日 …ルリビタキ (♀)
3月 3日 …ウグイス

菅野文夫
菅野文夫
菅野文夫

中久木・富士見台地区

2月 3日 …アカハラ

若林幹夫

東初石・美田・駒木地区

1月 1日 …シジュウカラ、メジロ
1月 2日 …ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ♀、シジュウカラ、メジロ、スズメ
1月 3日 …シジュウカラ、メジロ、スズメ
1月 8日 …シジュウカラ、メジロ、スズメ
1月 13日 …ツミ、メジロ
1月 31日 …シロハラ
2月 4日 …ジョウビタキ♀、シジュウカラ、メジロ、スズメ
2月 8日 …シロハラ、シジュウカラ、メジロ、スズメ
2月 17日 …ジョウビタキ♀、シジュウカラ、メジロ、スズメ
2月 23日 …シジュウカラ、メジロ、スズメ
2月 25日 …シジュウカラ、メジロ、スズメ
2月 28日 …シジュウカラ、メジロ、スズメ
3月 1日 …シジュウカラ、メジロ、スズメ
3月 2日 …シジュウカラ、メジロ、スズメ

森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
菊池和子
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明



ノスリ (♀成鳥) 2023.01.09 落合



カワセミ (♀) 2023.01.28 落合



コミズク 2023.01.31 森岩



コミズク 2023.02.03 森岩



ベニマシコ (♀) 2023.02.04 落合



ベニマシコ (♂) 2023.02.04 落合

3月 8日 …イツヒヨドリの鳴き声

菊池和子

柏の葉公園地区

1月 5日 …カワセミ (♂)

野間邦夫

浦安三番瀬地区

3月 4日 …カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、コサギ、ヒドリガモ、オナガガモ、スズガモ、オオバン、イツシギ、セグロカモメ、ハクセキレイ、タヒバリ

森岩好明

★「鳥だより」をお寄せください。

【通勤、買い物途中などで見かけた鳥の身近な観察情報、初認情報などをお待ちしています。

【連絡先】若林幹夫 〒270-0127 流山市富士見台1-367-49 FAX:04-7154-6339

e-mail:mikio-wa@rf6.so-net.ne.jp

次号の「鳥だより」は6月20日までをお願いします。

★引続き「鳥見ばなし」も随時募集中です。

つれづれなる鳥談義、プライベートな鳥見ばなし、ほんの身近なちょい話し、なんでも結構です。

【連絡先】相馬利雄 〒270-0163 流山市南流山6-27-11 FAX:04-7159-0972

e-mail:toshio@sanposha.co.jp



チョウゲンボウ (♀成鳥) 2023.02.04 落合



コサギ 2023.02.04 落合



ハヤブサ 2023.02.23 森岩

東初石・美田・駒木地区



シジュウカラ 2023.01.02 森岩



スズメ 2023.02.25 森岩



メジロ 2023.02.28 森岩

◆ 今後の行事予定

● 4月（第289回）定例観察会

日時：4月16日（日曜日）

場所：駒木・大堀川

集合：豊四季駅 改札口前

解散：12時ころ 持物：弁当なし

初めてのコースです。どんな出会いがあるでしょうか？

担当：菊池

9:00～12:00

午前9時（雨天中止）

● 5月（第290回）定例観察会

日時：5月21日（日曜日）

場所：野々下・総合公園

集合：豊四季駅 南口階段下

解散：13時ころ 持物：なし

担当：落合

10:00～13:00

午前10時（雨天中止）

引き続き、「バーベキュー親睦会」を行います。（会員限定、HPからの申し込み制です。）

鳥合わせ後、13時30分～16時30分。

場所：LOCAL BBQ 流山 <https://local-bbq.com/>（解散後、徒歩5分。元日本庭園）

大人@3,650円（税込み）小学生@2,200円（税込み）飲み物は別料金。

手ぶらでOKです。新会員のみなさん、是非ご参加ください。観察会后、一杯やりましょう！

詳細はホームページでご案内します。

● 6月（第291回）定例観察会

日時：6月18日（日曜日）

場所：利根運河・新川耕地

集合：運河駅 改札口前

解散：12時ころ 持物：なし

自然豊かな利根運河。季節はもう初夏でしょう・・・

担当：相馬

9:00～12:00

午前9時（雨天中止）

● <緊急シギ・チを見よう> 5月7日（会員限定）「葛西臨海公園」市外観察会

日時：5月7日（日曜日）

場所：葛西臨海公園

集合：葛西臨海公園駅 駅前広場

解散：15時ころ 持物：弁当持参 担当：相馬 落合

シギ・チドリの絶好の観察ポイントです。潮回りも最高。キビタキ・オオルリも期待大！

午前10時（雨天中止）

● 定例観察会のご案内は、ホームページでもお知らせしています。

★令和5年度分の会費納入についてのお願い★

未納の方は4月中に、年会費2,000円を払込票にて下記口座へお振込み下さい。

（ただし、家族会員は無料です。）

郵便振替口座：00130-3-608241 流山野鳥同好会

◆ 新入会員の紹介

🌸 1月入会 🌸

服部雅子さん

服部洋之さん

増田久美子さん

友水清之さん

柳健一郎さん

今泉好美さん

今泉毅さん

🌸 2月入会 🌸

田中晴奈さん

田中一秀さん

鈴木淑子さん

後藤邦宏さん

🌸 3月入会 🌸

東原聡さん

東原順子さん



◆ 令和5年3月31日現在の会員数

単体会員 39名 家族会員 17名 合計 56名

流山野鳥同好会会報 No. 143 2023年4月10日発行（年4回発行1月・4月・7月・10月）

発行人 相馬 利雄

連絡先 〒270-0163 千葉県流山市南流山6-27-11

TEL・FAX：04-7159-0972

郵便為替口座 加入者名「流山野鳥同好会」口座番号：00130-3-608241

流山市民活動推進センター【団体登録番号】04-13